



平成21年度JICA集団研修「ガスタービン・蒸気タービン (石炭)火力発電」コース始まる!



写真 「カントリーレポート」発表風景
研修生によって各国の実情や課題、
今回の研修目的などを発表

5月25日から平成21年度JICA集団研修「ガスタービン・蒸気タービン火力発電」コースが、PETエンジニアリングセンターを拠点として始まりました。

今回はバングラディッシュ・ボスニアヘルツェゴビナ・インドネシア・モンゴル・シリア・トルコ・ベトナムの7カ国、9名の海外技術者が、それぞれの国の実情に合わせて、日本で実施されている最新の火力発電の運用管理・保守技術・環境保全技術などを学びます。

また、中国電力殿の主力火力発電所である三隅発電所・柳井発電所・新小野田発電所やガスタービン・蒸気タービンメーカー工場を訪問し、日本の火力発電技術へ触れてもらいます。

さらにPETでは、JICA研修における海外火力発電技術者との交流を通じ、各国の課題解決にも協力していきます。

最後に、日本、特にPETでの6週間にわたる技術研修は、日本の国際貢献のひとつとしてそれぞれの国における火力発電技術の発展・向上に役立つものと確信しています。